

2015 年度第 11 回執行理事会議事録

期 日：2016 年 4 月 23 日（土） 14:30～12:00

場 所：産総研 会議室（本館 6 階） * 標本館にご参集ください。

出席者：井龍会長 渡部副会長 齋藤常務理事 坂口 杉田 中澤（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：山本副会長 ウォリス 海野 緒方 竹内 平田 廣木 星 保柳
松田 山路

* 定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 6 名，委任状 11 名，合計 17 名の出席。

* 前回の議事録が承認された。

I 審議事項

1. 県の石の発表準備進捗状況と今後

集まった資料を精査し，名称と産地の修正および不足分の収集を進める。25 日（月）に収集催促を行う。文科省記者会に会見を申し込み，リリースの手順を決める。そのうえで各支部での個別リリースの手順と解禁時間のアナウンスを準備する。

2. 熊本地震への対応

- ・ 連合大会における熊本地震の緊急セッション（地震学会）と共催する。
- ・ 災害調査委員会として情報収集に努める。
- ・ 現地入りしている会員に学会調査団としての名義使用を打診する。
- ・ 関係機関によるサポート情報や調査情報を HP に掲載する。

3. 2016 年度第 1 回理事会審議事項について

- ・ 会長＝代表理事，副会長の選出
- ・ 執行理事の選出（部会長の選出）
- ・ 理事会議長・副議長の選出
- ・ 業務委員会の確認
- ・ 各賞選考委員会委員の選出

業務委員会および各賞選考委員は前もって人選プランを準備しておき，議論の充実に努める。

4. その他

II 報告事項

1. 全体的報告

- 1) 今回の熊本地震に関し，熊本県の会員（会員数 41 名）のうちメールアドレス登録者 33 人にメールで安否確認を出した。9 名の方から，無事であるとの返事が届いた。西日本支部仲谷支部長からも連絡があり，支部としても対応しているとのことであった。

なお，これらの地域が激甚災害に指定された場合には，会費の免除も検討する必要がある。関係機関によるサポート情報を収集して掲載する。

- 2) 2016 年度の地質情報展等に対する科研費は 90 万円に交付内定。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方）

< 共催・後援依頼，他団体の募集等 >

- 1) 大阪市立自然史博物館より，第 47 回特別展「氷河時代—化石でたどる日本の気候変動」
(7/16—10/16) 後援名義使用申請を承諾した。

- 2) 日本科学技術振興財団より「青少年のための科学の祭典 2016」(6/11-2017/1/28, 全国 76 会場) の後援依頼を承諾
また、青少年のための科学の祭典 2015 の事業報告があった。
- 3) 地球化学会第 63 回年会の共催依頼 (9/14-16, 大阪市大) を承諾
- 4) 北海道博物館第 2 回特別展「ジオパークへ行こう！恐竜, アンモナイト, 火山, 地球の不思議を探す旅」(7/9-9/25) 後援依頼を承諾
- 5) 愛媛大学ミュージアム・理学部主催企画展示「愛媛県の石—岩石・鉱物・化石」
(5/10-9/19) 後援申請 県の石展示が行われる。公開日に注意してもらう。
- 6) 住友財団より, 2016 年度研究助成公募 (基礎科学研究助成, 環境研究助成, 助成期間 2016/11-2017/10) があり (6/16 〆切), News 誌, geo-flash, HP に掲載
- 7) 原子力学会より, 3/16 開催の「原子力総合シンポジウム」の終了お礼
- 8) 資源素材学会より会長交代挨拶, 新会長岡田昌徳氏 (JX 金属 (株))
- 9) ダイヤコンサルタント役員交代挨拶, 新社長野口泰彦氏
- 10) 千葉大学環境リモートセンシング研究センター長の交代, 新センター長安岡善文氏
- 11) 石灰石鉱業協会より会長交代挨拶, 新会長竹内 章氏

< 会員 >

- 1) 今月の入会者 (5 名)
正 [院割] 会員 (5 名) : 村岡やよい, 志村侑亮, 大信田彦磨, 姚 奇峰, 坂田凌輔
- 2) 今月の退会者 (正会員 8 名)
武藤 智, 曹 鉉子, 遠西昭寿, 殿上義久, 新井達之, 古谷祥悟, 向山悠樹, 藤井雄大
- 3) 今月の逝去者 (2 名)
名誉会員 (1 名) 倉林三郎 (2015/12/3)
正会員 (1 名) 西川 功 (2/29)

3. 広報部会：広報委員会 (坂口・松田)

- ・一家に 1 枚ポスター企画募集に対し対応する。締め切り 5/18
- ・地惑連合のフェローに会員から選ばれた方がたを HP にリストアップする。

4. 編集出版部会 (山路・海野・保柳)

(3) 企画出版委員会 (保柳)

- ・共立出版とのあいだでフィールドジオロジーの電子出版の契約を 4/19 付で交わした。
- ・“海洋底の地質”については, 理事会で意見要望のあった点について安間氏並びに出版社との間でこれまでの経緯等を確認し, これまでの経年を考慮して編集作業をすすめるよう注意を促した。そのほか編集に関する著者らとの個々の事柄については, 双方で解決すべきこととした。

5. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木)

- ・地質の日行事「街中ジオ散歩—国会議事堂の石を見に行こう」5 月 14 日
応募総数 90 名 (午前 49 名, 午後 41 名) であった。4/18 日に抽選を行い, 午前 25 名, 午後 26 名の当選者を決めた。当日の参加者は午前 25 名, 午後 25 名であった。
- ・地質調査研修：秋季研修は 11 月 14 日 (月) ~11 月 18 日 (金) 実施を予定

以上

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会 長（代表理事）井龍康文

署名人 執行理事 斎藤 眞